

安全データシート

国際連合GHSに拠る

VITA VM CC BASE DENTINE_EFFECT LINER_ENAMEL_WINDOW

加工された日付: 02.02.2017

製品コード: 056-UN

ページ 1 の 7

1 化学品及び会社情報

製品識別名

VITA VM CC BASE DENTINE_EFFECT LINER_ENAMEL_WINDOW

物質または混合物の従来から確認された用途、および使用を差し控えるようにアドバイスする用途

用途

実験試薬として使用

安全データシート作成者の詳細

会社名称:	VITA Zahnfabrik H. Rauter GmbH & Co. KG	
郵便私書箱:	1338 79704 Bad Säckingen	
電話番号:	+49(0)7761-562-0	F A X 番号: +49(0)7761-562-299
電子メール:	info@vita-zahnfabrik.com	
インターネット:	www.vita-zahnfabrik.com	

警察署・消防署への非常連絡番号:

+49-(0)761-19240

詳しい情報

medical device

2 危険有害性の要約

物質または混合物の分類

国際連合GHS (ST/SG/AC.10/11/Rev.6)

危険有害性カテゴリー:

呼吸器感作性または皮膚感作性: 皮膚感作性 1

危険有害性情報:

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

ラベル要素

国際連合GHS (ST/SG/AC.10/11/Rev.6)

ラベルに表示されなければならない有害成分

dibenzoyl peroxide; benzoyl peroxide

注意喚起語: 注意

危険有害絵文字:



危険有害性情報

H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

危険の予防

P261	粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P280	保護手袋および保護眼鏡 / 保護面を着用すること。
P302+P352	皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。

他の危険有害性

情報は何もない。

安全データシート

国際連合GHSに拠る

VITA VM CC BASE DENTINE_EFFECT LINER_ENAMEL_WINDOW

加工された日付: 02.02.2017

製品コード: 056-UN

ページ 2 の 7

3 組成及び成分情報

混合物

危険有害成分

CAS番号	化学名	数量
	GHS 分類	
94-36-0	dibenzoyl peroxide; benzoyl peroxide	1 - < 5 %
	Org. Perox. B, Eye Irrit. 2, Skin Sens. 1; H241 H319 H317	

HおよびEUH条項の表記: 16章を参照すること。

4 応急措置

必要な応急手当の記述

吸い込んだ後に

新鮮な空気を入れること。呼吸困難または呼吸停止のときは、人工呼吸を開始すること。医師の処置を必要とする。

皮膚に付着した後に

皮膚に触れたら、ポリエチレングリコールで直ちに洗い流し、その後、多量の水で洗浄すること。汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。医師の処置を必要とする。

目に付着した後に

直ちに洗眼用シャワーまたは水で、注意深く念入りに洗い流すこと。眼の刺激があれば眼科医にかかること。

嚥下後

直ちに口をすすぎ、たくさんの水を飲むこと。

最も重要な症状および作用、急性および後発性

情報は何もない。

緊急治療および特別処置が必要な兆候

症状に応じて処置すること。

5 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

消火対策を、周辺地域に適合するよう調整すること。

消防士のための事前注意事項

自給式呼吸器具及び化学防護服を着用すること。全身防護服。

追加の指摘

ガス/蒸気/霧は、水を霧状に噴射して沈降させること。汚染された消火用水は、分別して回収すること。排水管や自然水系に流入させないこと。

6 漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置

十分に換気をすること。粉塵の発生を防ぐこと。粉塵の吸入を避けること。皮膚、眼、衣服との接触を避けること。個人用の保護具を使用すること。

環境に対する予防措置

下水道、あるいは自然水系に流入させないこと。

安全データシート

国際連合GHSに拠る

VITA VM CC BASE DENTINE_EFFECT LINER_ENAMEL_WINDOW

加工された日付: 02.02.2017

製品コード: 056-UN

ページ 3 の 7

封じ込めおよび浄化方法と機材

機械で拾い上げること。その受け入れた物質は、廃棄物処理の章に従って、取り扱うこと。

他のセクションを参照

安全取扱い: 参照箇所 節 7

個人用保護具: 参照箇所 節 8

廃棄物処理: 参照箇所 節 13

7 取扱い及び保管上の注意**安全な取扱いのための予防措置****安全取扱い注意事項**

特別な予防措置は必要ではない。

火災および爆発防護に関するアドバイス

特別な防火対策は、必要ではない。

配合禁忌等、安全な保管条件**倉庫と容器の需要**

容器は、密閉した状態を保つこと。

保管時の物質同士の両立性に関する情報

特別な予防措置は必要ではない。

8 ばく露防止及び保護措置**管理パラメーター****曝露防止****保護・衛生対策**

汚れが付着し、濡れた衣服は、直ちに脱衣すること。皮膚を保護するための計画を作成し、遵守すること！
休憩前や就業後は、手と顔を念入りに洗うこと、必要であればシャワーを浴びること。作業時には、飲食を
してはならない。

眼/顔面用の保護具

眼または顔面の保護具を着用すること。

手の保護具

化学物質を取り扱う際には、4桁の検査番号を含むCE表示のついた化学物質用保護手袋に限り、着用しなければならぬ。化学物質用保護手袋は、職場で扱う危険物質の濃度や量に応じて、適したものを選ばなければならない。前述した保護手袋を特別な用途に使用する場合、手袋の製造者に、化学物質耐性について確認することが望ましい。破過時間（最大着用時間）480 min 推奨される手袋製品 KCL DermatrilP NBR (ニトリルゴム)

皮膚の保護

適切な保護衣を着用すること。

呼吸器の保護

換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。自然の換気を確保するために、窓を開けること。高濃度の箇所では、十分な換気と局所排気を行うこと。

VITA VM CC BASE DENTINE_EFFECT LINER_ENAMEL_WINDOW

加工された日付: 02.02.2017

製品コード: 056-UN

ページ 4 の 7

9 物理的及び化学的性質

基礎物理および化学特性の情報

物質の状態: 固体
色:
臭い: 特異臭

試験方法

pH値: 確定されていない

状態の変化

融点: 確定されていない
引火点: > 250 °C

引火性

固体: 確定されていない
ガス: 非該当

爆発下限: 確定されていない
爆発上限: 確定されていない

自然発火温度

固体: 確定されていない
ガス: 非該当

分解温度: 確定されていない

酸化特性

しない 燃焼を促す。

蒸気圧: ≤1100 hPa
(で 50 °C)

密度: 確定されていない

水溶性: いいえ

溶媒に対する溶解性

確定されていない

水分係数: 確定されていない

蒸気密度: 確定されていない

蒸発速度: 確定されていない

その他の情報

固形分濃度: 100,0 %

10 安定性及び反応性

反応性

規定に従って取扱い及び貯蔵される場合、有害反応はない。

化学的安定性

本製品を通常の常温で保管すると安定である。

危険有害反応性の可能性

知られた有害反応はない。

安全データシート

国際連合GHSに拠る

VITA VM CC BASE DENTINE_EFFECT LINER_ENAMEL_WINDOW

加工された日付: 02.02.2017

製品コード: 056-UN

ページ 5 の 7

避けるべき条件

(一つも、何も、誰も)・・・ない/(一つも、何も、誰も)・・・ない

不適合物質

情報は何もない。

危険有害性のある分解生成物

既に知られた有害分解製品はない。

11 有害性情報**毒性情報****急性毒性**

入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

刺激性及び腐食性

入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

感作性影響

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ (dibenzoyl peroxide; benzoyl peroxide)

生殖における発ガン性/変異原性/有毒性の影響

入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

特定標的臓器毒性 (単回暴露)

入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

特定標的臓器毒性 (反復暴露)

入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

吸引力呼吸器有害性

入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

テストに関するその他のインフォメーション

この混合物はEC指令No 1272/2008 [CLP]において、危険性を有すると評価される。

12 環境影響情報**毒性**

その製品は、(で)ない:生態毒性。

残留性と分解性

その製品は、検査されなかった。

生物蓄積性

その製品は、検査されなかった。

土壌中の移動度

その製品は、検査されなかった。

他の有害影響

情報は何もない。

詳しい情報

環境への放出を避けること。

13 廃棄上の注意**廃棄物処理方法****廃棄の勧告**

下水道、あるいは自然水系に流入させないこと。廃棄物は該当法規に従って廃棄すること。

安全データシート

国際連合GHSに拠る

VITA VM CC BASE DENTINE_EFFECT LINER_ENAMEL_WINDOW

加工された日付: 02.02.2017

製品コード: 056-UN

ページ 6 の 7

汚染した包装

十分な水で洗い流すこと。完全に中身が空の包装容器は、再生利用に引き渡すことができる。

14 輸送上の注意

海上輸送 (IMDG)

UN番号:	No dangerous good in sense of this transport regulation.
正式の国連輸送名:	No dangerous good in sense of this transport regulation.
輸送における危険有害性クラス:	No dangerous good in sense of this transport regulation.
包装等級 (P G):	No dangerous good in sense of this transport regulation.

空輸 (ICAO-TI/IATA-DGR)

UN番号:	No dangerous good in sense of this transport regulation.
正式の国連輸送名:	No dangerous good in sense of this transport regulation.
輸送における危険有害性クラス:	No dangerous good in sense of this transport regulation.
包装等級 (P G):	No dangerous good in sense of this transport regulation.

環境危険有害性

環境に有害である: いいえ

使用者のための特別な予防措置

情報は何もない。

MARPOL 73/78 の付属文書 II および IBC Code に準拠するバルク輸送

非該当

15 適用法令

物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律

国内規定情報

従業制限:	若年層への従業制限に注意する。
水汚染クラス (ドイツ):	1 - 弱い水質汚染力
皮膚吸収/感作:	アレルギー性過敏反応を起こします。

16 その他の情報

略称と頭字語の説明

ADR: Accord européen sur le transport des marchandises dangereuses par Route
(European Agreement concerning the International Carriage of Dangerous Goods by Road)

IMDG: International Maritime Code for Dangerous Goods

IATA: International Air Transport Association

GHS: Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals

EINECS: European Inventory of Existing Commercial Chemical Substances

ELINCS: European List of Notified Chemical Substances

CAS: Chemical Abstracts Service

LC50: Lethal concentration, 50%

LD50: Lethal dose, 50%

HおよびEUH条項の表記(番号および全文)

H241	熱すると火災や爆発のおそれ。
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

安全データシート

国際連合GHSに拠る

VITA VM CC BASE DENTINE_EFFECT LINER_ENAMEL_WINDOW

加工された日付: 02.02.2017

製品コード: 056-UN

ページ 7 の 7

H319

強い眼刺激。

詳しい情報

この安全データシートの記述は、印刷時点における最良の知見に基づいている。その情報は、この安全データシートに記載されている製品の貯蔵、加工、運搬および処理の際、安全にとりあつかうための手がかりとなるはずで、その記述は、他の製品に適用することはできない。その製品が他の材料と混ざり合う、または加工されるかぎりでは、又は工程の場合、本製品安全データシートに記載された情報は新しく作られたどんな物質に対して必ずしも有効ではない。